

全酪連会報 **12**

2021 DEC No.675



酪農とのかけはし／

長野 麗さん
(山の未来舎)

酪農業に対する
理解醸成活動報告①

酪農部だより／
牛乳・乳製品消費拡大活動
「I ♥ MILK Action2021」の
展開について

令和3年度
全酪連会員職員研修会

日本酪農見て歩紀／
二ノ宮牧場
(栃木県那須塩原市)

酪農トピックス／
【全国農協乳業協会】
「令和3年度製造技術体験発表会・
研修会」の開催 (酪農部) ほか

栄えある秋の叙勲



www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/



全国酪農業協同組合連合会

酪農との かけはし



第35回 みるくしゃ 山の未来舎

母から娘へ。 受け継がれる チーズと愛情。 未来へと繋ぐ みるくしゃ 「山の未来舎」

乳肉製品の加工・販売を行う
みるくしゃ
「山の未来舎」
うらら
長野 麗さん

年齢:42歳
熊本県上益城郡山都町 在住
酪農学園大学 酪農学科卒業

出会い

平成16年、筆者が九州酪農青年女性会議（以下、九酪青女）の事務局

を担当していた頃に出会った山口やよいさん（長野麗さんの実母）。熊本県酪農女性部協議会会長でもあり、九酪青女の委員でもありました。九酪

青女委員が中心と

なっており、発表大会や指導者研修会など運営し、年に数回お会いしていました。やよいさんは、明朗快活でバリエーションがあり、リーダーシップを十分に発揮され、積極的な発言で私達を引っ張ってくれました。

平成18年冬、牛

乳の需給バランスが崩れ、生乳が廃棄される事態が発生しました。



▲ 山口やよいさん

当時は牛乳バッシング本の影響もあり、牛乳を消費してもらおうにはどうしたらいいのか、頭を悩ませていました。やよいさんは、非常に勉強熱心で、地元で「牛乳を食べよう、家庭で作ろう！カッターチーズ」という標語を作り、積極的に一般消費者へ牛乳乳製品の魅力をPRされ、「飲んでもらえないなら、食べてもらおう」と「食べる牛乳」の普及に力を注ぎました。

そんな中、セレンディピティ!! カッターチーズからモッツァレラチーズを作る方法を見つけ、この



▲ やよいさんのすべてが詰まった「酪農かあさんが教える台所チーズ」

チーズを「サンモッツァ」と名付けました。この「サンモッツァ」の由来は、酸（SUN）性のお酢を使っ



▲ アルバムを見返すと幼い頃の長野麗さんとお母様の山口やよいさん。笑顔のお二人

命名しました。明るい太陽の下、「サンモツア」を通じてみんなが笑顔になれるようにとの思いが込められています。

やよいさんは、平成25年、第42回全国酪農青年女性酪農発表大会の意見・体験発表の部で「サンモツア」を中心とした活動内容を発表され、見事、農林水産大臣賞を受賞されました。これまでの活動内容をまとめ、後世に記録として残すべく1冊の本を執筆し、出版日まであと2週間に迫った今年3月に、惜しまれながらご逝去されました。

しかし、やよいさんの想いは一番身近で一緒に活動してきた、娘さんが引き継いでいると耳にし、取材にお邪魔させていただきました。

概要

山の未来舎がある山都町は、九州の真ん中に位置するため、「九州のへそ」といわれています。山都町の標高は、200mから1,700mとなつていますが、居住地域は、200mから900mにあり、平野部との気温差は各月平均で4度ほど低く、準高冷地の気候です。

山の未来舎は、山口牧場が営む工



房とカフェでネットショップやチーズ作り体験教室、乳肉製品加工など多岐にわたる仕事をすべて麗さんが一人で行っているというから驚きます。

隣接する山口牧場では、現在、山口孜朗さん（実兄）山口晋祐さん（実父）長野正典さん（ご主人）が、ホルスタイン・ジャージー・ブラウンスイスを120頭ほど飼育されています。山口家の先祖には熊本城を築城した加藤清正公の伯母と結婚した人物がいるそうで、藩医も勤め、代々身内には医者が多いそうです。

やよいさんは北海道のご出身でご実家は酪農を営んでいました。晋祐さんと出会い結婚し晋祐さんの故郷山都町で牧場を開業しましたが、当時は周辺に酪農をしているところもなく、地域の理解や支援を得るまでには様々なご苦勞を伴ったことでしょう。



体験

小春日和に恵まれた紅葉の眩しい中、山あいの道をひたすら車を走らせ、見えてきたのはログハウス風の



おしゃやかな建物。チーズ工房・肉工房に併設してカフェがあります。麗さんは、元氣あふれる明るさで、窓から「こんにちは〜！」と声をかけてくださり、温かく迎え入れてくれました。外観も内装も麗さんのセンスが光ります。早速、やよいさんが考案した「サンモツア」作りを体験させていただくことにしました。朝搾りの生乳へ、お酢を入れるとみるみるうちに固まります。それを集めて熱湯の中でこねると、弾力がでてプニプニな感触。赤ちゃんの



ほっぺ、お餅みたいにつややかで、滑らか。それをちぎって氷水で冷やし、塩水につけると「サンモツア」の出来上がり。かたまりを何度も引っ張って折りたたむとストリングチーズが出来、全ての工程がなんと、1時間かからずに出来ました。

まあ、なんとも簡単。なんとも不思議、そして何より、生乳の不思議さに感動。液体から個体へと変化し、しかも、滑らか。酪農家ならではの「搾りたて」だからできる、まさに「酪農家のご馳走」、これがみんなの台所で出来る



というからさらに驚きです。

材料は、「牛乳」と「お酢」のみ。気を付けるのは「ノンホモパスチャライズ牛乳」を使用すること。これが一般に市販されているUHT牛乳では出来ないらしい。搾りたて生乳に最も近いノンホモ(脂肪球を均一化にしない)、パス(低温殺菌)の牛乳が必要で、まさに牛からの恵みここにあり。食の不思議、乳の不思議に感動です。

体験後にサンモツアを使ったピザも作っていただきました。食材はいたってシンプル。サンモツアと自家製バジルとトマトソース。それだけなのに、それだけで美味しい。いや、それだから美味しいのだ。

決断

このカフェの木のぬくもりと麗さんの人柄が温かく、穏やかな時間に包まれながら、お話を伺いました。

やよいさんには、麗さんと一緒にチーズを作りたいとの思いがあり、日々チーズ作りに夢をふくらませていたそうです。麗さんは、やよいさんの期待に応えるべく、ご両親と共に酪農をやるうと決意し、酪農学園大学に進学しました。学生時代の夏休みには、食品学科の先生から工房

をお世話してもらいチーズ作りを学び、卒業後は北海道のチーズ会社に就職、レンネットを使った一般的な製法でチーズを製作していたそうです。その後、地元に戻り、酪農以外の販売の仕事も経験されましたが、職人気質の麗さんには、やはり「酪農」しかないと初心を貫き、工房設立を機に、このカフェ・工房・商品開発を1人で担当され日々頑張っておられます。

酪農の魅力

農業高校の生徒さんが体験に来られた時のことをお話してくださいました。「お父さんのお仕事は？」と尋ねると、「会社員です」と言い、さらに、『どんなお仕事？』と聞くと、『わかりません』と答えたそうです。

「酪農は、親の仕事ぶりを身近で見ることが出来、時間や季節によって何の作業をしているのかわかるのが魅力。そして、そこで搾られたものがこうやって目の前でいろんな商品になるなんてすごいこと。牛乳ってすごいんです！」と麗さん。

これからの酪農

酪農はたい肥処理や環境問題、後



◀ ジャージー牛の加工品もあります



▲ 愛猫いいちこ、御主人正典さん、長野麗さん



ソフトクリームもどうぞ〜。濃厚であっさり

継者不足が深刻化しています。「酪農家が乳処理をするには免許や手続きが必要になるが、それがもっと簡単に加工や販売ができるようになればいいのに。外国のファーマーズマーケットみたいに庭先でできるようになれば、もっと酪農家の存続にも繋がっていくのではないかな」とおっしゃっていました。「目に見えて楽しいことをして、酪農への理解を深めていきたい」と笑顔で答えてくださいました。

「両親がこの山地に酪農を始め、私達が2代目として酪農を続けていきました。ご主人はご結婚するまで農

未来へ

「一般的な製法のチーズとは「違うチーズ」。この「サンモツァ」を通して、この山都町全体を盛り上げていければと思っています」。地域活性への一助となればと日々様々なアイデアを構想し努力し続ける麗さん。

愛情たっぷりの麗さんと優しいご主人と楽しい1日を過ごさせていただきました。ご主人はご結婚するまで農

全国の酪農家に 一言!

酪農家さん自身がまずはぜひご自分で搾った生乳でこの「サンモツァ」を楽しんで作ってみてください。分からないことがあれば、遠慮なくご連絡ください。全国でこのチーズが広まって、そして世界中に広めていくのが夢。ぜひ、カフェにも遊びに来てください。

業には無関係で酪農のことは全く分からなかったようですが、ご家族と協力しながら日々牧場作業に精を出しているとの事。一人三脚でお互いを尊重し合い支え合う姿が印象的でした。お忙しい中、取材にご協力いただき、本当にありがとうございました。やよいさんとの縁で麗さんとも出会うことが出来ました。やよいさんの思いと酪農への情熱が最大限に活かされた「サンモツァ」。この「サンモツァ」を通じて、酪農の魅力を繋げ合い、世界中に広まってく、そんな未来が来る日を願っています。(M・Y)

「サンモツァ」の作り方が詳しく掲載されています。

冬休み年末年始に、ぜひ、「ノンホモ牛乳」で「サンモツァ」を作ってみてください。

酪農かあさんが教える台所チーズ

初版発行 令和3年3月20日
著者/スローライフミルク研究会
出版社/一般社団法人農山漁村文化協会
造本体裁/A5判 ページ数/80
定価/本体1,300円(税別)
ISBN978-4-540-20197-4



山の未来舎
ホームページ

▶ <https://www.yamanomilk.com/home>

通販 インスタグラム Facebook



酪農業に対する 理解醸成活動報告①



全国酪農青年女性会議と全酪連は、国の補助事業である「生乳生産者需要確保事業」の補助を活用し、毎年、酪農理解醸成活動を行っております。

この活動は、日本の酪農を取り巻く状況や、酪農が果たす役割を酪農家自らが発信することによって、一般消費者に酪農への理解を深めていただくとともに、牛乳・乳製品の消費拡大を目的としています。

新型コロナウイルスの影響が長期化し、まだまだ行動が制限される中ではありますが、十分な感染防止対策を実施した上で、“**ゴクゴクあたりまえ**”に牛乳をのんでいただくべく、今年も全国各地でPR活動を行っています。その活動内容を抜粋してご報告します。また、ご協力いただいた関係者の方々に深く御礼申し上げます。

●らくのうマルシェ（酪農部主催）
全酪連 酪農会館ビル前（東京都渋谷区代々木）
開催日：11月13日（土）
参加者：全国酪農青年女性会議、全酪連職員

YouTubeで1分ほどの動画を掲載しております。
→<https://www.youtube.com/watch?v=awDC33r52gE>



本
所



●こども食堂・児童館・福祉施設
岩手県盛岡市
開催日：10月8日（金）、11日（月）、12日（火）、19日（火）、22日（金）、26日（火）、11月2日（火）、5日（金）、16日（火）、19日（金）
参加者：岩中酪農青年女性会議 11名



仙
台
支
所

●出張酪農体験学習
北串小学校(長崎県雲仙市小浜町)

開催日:10月22日(金)

参加者:長崎県酪農青年女性会議 他 9名



●第2回さが駅前うまいもん市場
佐賀駅周辺(佐賀県佐賀市)

開催日:10月23日(土)~24日(日)

参加者:JAさが酪農課 他 12名



佐賀県内書道教室、佐賀県内子供クラブ

開催日:11月01日(月)、5日(金)

参加者:佐賀県酪農婦人部連絡協議会



ミルクランド東毛ニコモール店(群馬県太田市新田市野井町)・
東毛酪農63℃八景島シーパラダイス店(神奈川県横浜市)

開催日:10月23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)

参加者:東毛酪農業協同組合



牛乳・乳製品消費拡大活動

I LOVE MILK Action2021
の展開について

本会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより生乳需給の緩和が懸念されるなか、全酪連グループ全体で取り組む牛乳・乳製品の消費拡大活動「I ♥ MILK Action2021」を展開します。

本アクションでは11月18日～1月31日までの期間中に本会職員全体で生乳50t（職員1人あたり100kg相当）の牛乳・乳製品を消費することを目標に取り組みます。

今回の取組では、支所など地域別に編成したチーム間で期間中の1人当たりの牛乳・乳製品消費量を競うこととしており、職員各自での消費に加え、来客、会議時での牛乳提供、イベント・会食時の牛乳での乾杯推奨、土産やお歳暮での乳製品ギフト利用など様々な方法で、本会職員自らが積極的に消費拡大に取り組むこととします。

また、本活動のイメージキャラクター『生乳需給刑事 ダツ・バター』が「飲むうぜ、明日のために、もう一杯」を掛け声に牛乳消費を呼びかけるポスターを全国で掲示する

など、本会職員はもちろん、関係先などに対しても酪農理解醸成や消費促進を呼びかける取組みを展開します。

活動開始日となった11月18日(木)には、全酪連の各支所・工場・グループ会社など全国をWebで繋ぎ、限部代表理事会長

による挨拶、各チームのリーダーによる決意表明、参加者全員による牛乳での乾杯を行うキックオフイベントが盛大に行われ、それに先立ち11月13日(土)には、本所が所在する酪農会館前において「らくのうマルシェ」が開催され、本会乳製品をはじめ全国各地の農協乳業が製造するおいしい牛乳・乳製品の販売に加え、全国酪農青年女性会議の協力による牛乳・乳製品の消費拡大の呼びかけと酪農理解醸成活動も同時に行われるなど、様々な取組みが進められています。

今年の年末年始は、好調な生乳生産に対し新型コロナウイルス感染拡大の影響による継続的な需要減退に加え、学乳休止期による生乳需給緩和により、Jミルクの試算でも12月下旬は全国の乳製品工場で最大限処理を実施すると仮定した場合でも、多くの処理不可能乳が発生する恐れがあると伝えられています。また、新型コロナウイルスの影響による業務用需要の減退、それに伴う余乳処理の増加により、国内の乳製品在庫もかつてない高い水準まで積み上がっており、こうした非常に厳しい状況下で、本アクションを通じ全酪連グループ全体で牛乳・乳製品の消費拡大に取り組む、酪農業界を取り巻く課題解決に少しでも貢献してまいりたいと考えています。



I LOVE MILK Action2021
ZENRAKU

2021年 2022年
11/18~1/31
発動中!

飲もうぜ!
明日のために
もう一杯



生乳需給刑事

ダツ・バー

全酪連会員職員 研修会

令和3年11月12日（金）に、令和3年度全酪連会員職員研修会を開催いたしました。コロナ禍であることからリモートで開催となりましたが、37会員から約150名の方々にご参加いただきました。慣れないリモートでの開催にもかかわらず大勢のご参加をいただき、ありがとうございました。

今回の研修会は、『消費税インボイス制度の概要』と『最近の酪農情勢』の二つのテーマで行いましたが、『最近の酪農情勢』につきましては11月号に「直近の生乳需給について」の記事として掲載しておりますので、財務省主税局税制第二課の佐々木課長補佐に講演いただきました『消費税インボイス制度の概要』を掲載いたします。



『消費税インボイス制度の概要』

財務省主税局税制第二課課長補佐
佐々木 辰実氏

令和5年10月1日から始まる消費税インボイス制度について説明

された内容を一部ご紹介いたします。

事業者の仕入税額控除

事業者は、売上げ時に預かった

消費税から、仕入れやサービスを受けたときなどに支払った消費税を差し引いた額を納税しています。この消費税を差し引くことを「仕入税額控除」といいますが、現行の制度では、一定の記載事項が記載された帳簿及び請求書の保存が必要です。令和5年10月からはこの保存すべき「請求書等」に記載すべき事項が加わり、「適格請求書（インボイス）」になります。

買い手は仕入税額控除のためにインボイスの保存が必要となりますが、自社が売り手となる立場から考えると、買い手である自社の売上げの仕入税額控除のためにインボイスをどのようにして交付するかの検討が必要になるということです。

インボイスとは

インボイスとは、売り手が、買い手に対して正確な適用税率や消費税額を伝える手段であり、必要事項が記載されていればレシート、お買上明細、領収書等の名称を問わずインボイスになります。

ここでいう必要事項とは次の6つをいいます。

①請求書発行者の氏名又は名称及

び登録番号

②取引年月日

③取引の内容（又は内容及び軽減税率の対象品目である旨）

④適用税率ごとに区分して合計した対価の額及び適用税率

⑤消費税額

⑥請求書受領者の氏名又は名称

①の「登録番号」とは、課税事業者が税務署長の登録を受けることで発行される番号であり、登録を受けた事業者は、課税事業者である買い手の求めに応じ、インボイスの交付義務及びその写しの保存義務が生じます。（図1参照）

何をインボイスとするか

現在、取引の際に作成している書類として、契約書、納品書、請求書、領収書など有りますが、そのすべてにインボイスとして必要な事項を記載する必要はありません。例えば、日ごとに発行する納品書にインボイスとして必要な事項の一部が記載されており、月末締め請求書にその他の必要事項を記載すれば、納品書との関連を明確にすることで、それらを併せてインボイスとすることができます。

ただし、日ごとに発行する納品

書単位において消費税額を計算し
端数処理を行う場合と、月末の請
求書で1回だけ消費税額を計算し
端数処理を行う場合では、消費税
額に差が生じることがあります。
インボイス制度では、何をインボ
イスとするかによって消費税額が
異なることがあるということです。

いろいろなパターンを紹介した
ため、複雑に感じられますが、必
要な事項が網羅されているのであ
れば様々な対応が認められるとい
うことです。(図2参照)

媒介者交付特例・協同組合等特例

商品などの販売を行う事業者(委

託者)が、媒介等の業務を行う事業
者(受託者)に販売を委託する場合
において、受託者が委託者に代わっ
て、受託者の氏名・登録番号を記
載したインボイスを交付すること
を可能とするのが「媒介者交付特
例」です。この場合、委託者及び
受託者の両者が登録事業者であり、

図-1 適格請求書等保存方式(インボイス制度)について

○適格請求書等保存方式(インボイス制度)

複数税率下において適正な課税を確保する観点から導入される、仕入税額控除制度

★適格請求書(インボイス)⇒ 売り手が、買い手に対し、正確な適用税率や消費税額等を伝える手段

【現行の区分記載請求書等保存方式】

※インボイス制度までの4年間における
暫定的な仕入税額控除方式

~2023年9月

【イメージ】

請求書	御中	御△△
○御御中		
●年■月分 請求金額	43,600円	
■月1日 割りばし	550円	
■月3日 牛 肉 ※	5,400円	
合計	43,600円	
(10%対象 22,000円)		
(8%対象 21,600円)		
※は軽減税率対象		

- 【記載事項】
- 請求書発行者の氏名又は名称
 - 取引年月日
 - 取引の内容
 - 税率ごとに区分して合計した対価の額(税込)
 - 軽減税率の対象品目である旨
 - 請求書受領者の氏名又は名称

(ポイント)

- 受領した請求書に④・⑤の事項がなければ自ら「追記」が可能
- 免税事業者でも発行可能
- 区分記載請求書の「交付義務」はない

【適格請求書等保存方式(インボイス制度)】

2023年10月~

【イメージ】

請求書	御中	御△△(T1234...)
○御御中		
●年■月分 請求金額	43,600円	
■月1日 割りばし	550円	
■月3日 牛 肉 ※	5,400円	
合計	43,600円	
10%対象 22,000円 内税	2,000円	
8%対象 21,600円 内税	1,600円	
※は軽減税率対象		

- 【記載事項】
区分記載請求書以下の事項が追加されたもの
- 登録番号
《課税事業者のみ登録可》
 - 適用税率
 - 消費税額

(ポイント)

- 交付するインボイスは、これまでの請求書や領収書に記載事項を追加するイメージ(受領者による「追記」は不可)
- 免税事業者は発行不可(発行するには課税事業者となり税務署長に登録を受ける必要)
- 登録した事業者は、買い手の求めに応じてインボイス交付義務・写しの保存義務が発生

図-2 何をインボイスとするか①

ケース1 各納品書をインボイスとする場合	
インボイスに記載された消費税額は、納品書A:9円+納品書B:9円=18円	
インボイス	○株式会社 御中 納品書 RO. 7. 6 No.A
保存義務	○
買手:○	○
売手:○	○
インボイス	○株式会社 御中 納品書 RO. 7. 20 No.B
保存義務	○
買手:○	○
売手:○	○
インボイス	○株式会社 御中 請求書 RO. 7. 31
保存義務	×
買手:×	×
売手:×	×

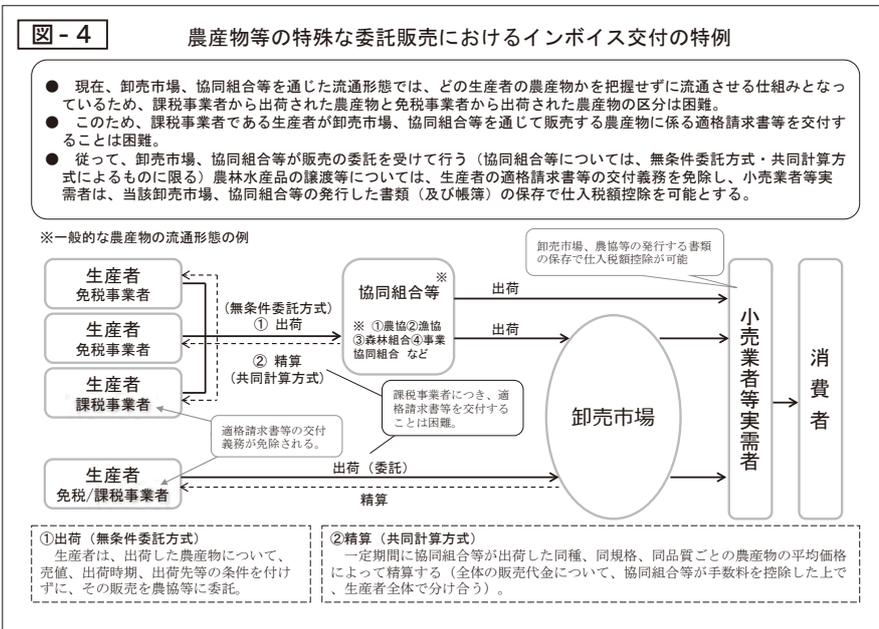
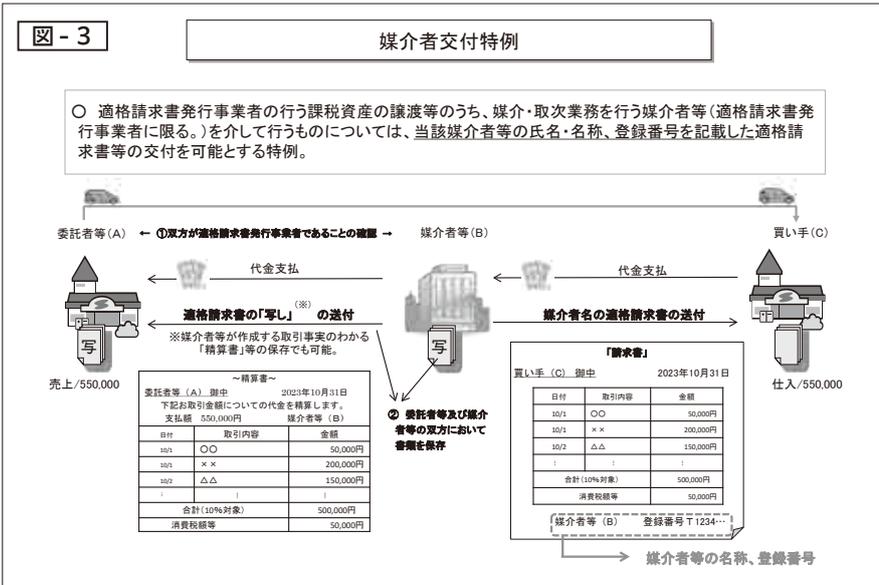
ケース2 月次請求書をインボイスとするケース	
インボイスに記載された消費税額は、請求書:20円	
インボイス	×
保存義務	×
買手:×	×
売手:×	×
インボイス	○株式会社 御中 納品書 RO. 7. 20 No.B
保存義務	×
買手:×	×
売手:×	×
インボイス	○株式会社 御中 請求書 RO. 7. 31
保存義務	○
買手:○	○
売手:○	○

(注)各書類中、太文字(ゴシック体)がインボイス「記載事項」を示す。

**インボイス制度導入後の
発注者による捉え方**

インボイス制度導入後は、取引先
が免税事業者である場合、仕入税額
控除が出来なくなることから、免税
事業者からの仕入れと登録事業者か
らの仕入れかによって、その取引金
額における経済価値が異なることと

4参照)
除され、購入者は農協の発行した
書類を保存することで仕入税額控
除を適用することができます。(図



【国税庁インボイス制度特設サイト】

➔ <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

【適格請求書等保存方式の概要-インボイス制度の理解のために-】

➔ <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0020006-027.pdf>

【消費税の仕入税額控除制度における適格請求書等保存方式に関するQ & A】

➔ https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/qa_01.htm

また、インボイス制度に関する一般的なご質問やご相談は、以下で受け付けております。

軽減・インボイスコールセンター

0120-205-553 (無料) 【受付時間】 9:00 ~ 17:00 (土日祝除く)

なります。なお、令和5年10月から6年間の経過措置がありますので、これらも踏まえて対応を検討してください。

詳しくは、国税庁HPにおいて、インボイス制度に関するパンフレットやQ&Aのほか、国税庁動画チャンネル(YouTube)が公表されております。

アンケート結果

返信いただいたアンケートにより、まず、研修会の内容については、ほとんどの方は「分かりやすく、今後の業務に活かせる」と答え、「今後の対応ややるべきことがはっきりした。」などの感想をいただきました。

現場のシステム改修については、「現

状のシステムで対応可能」または、「システム改修が終了している」組合は1/3程度でしたので、この研修がシステム改修に役立てば幸いです。作業量については「一時的に仕事量は増えるが、慣れれば現状と変わらなくなると思う。」という意見が多かったです。

今後の研修会のテーマとしては、監事の考え方や手法のほかに「経理・購買

などの担当業務別の研修」、「農協組織が守るべき法律や義務についての研修」、「消費拡大活動の一助となるような食や牛乳に関わる知識についての研修」、「酪農関連対策・補助事業」などを取り上げてほしいという声が寄せられました。

今後も当研修会を充実すべく、皆様から頂いた声にお応えしていきたいと思っております。

日本酪農 見と歩紀

No. 342

二ノ宮牧場
栃木県那須塩原市



▲ 左から秋蔵さん、奥様の桂子さん、愛犬のナナちゃん

「楽農」 〜楽しい酪農〜

地域の紹介

二ノ宮牧場（Kei牧場）のある那須塩原市は、首都圏から150kmの栃木県北部に位置しています。市の面積の半分は、那須火山帯に属した湯量豊富な塩原温泉郷や板室温泉、三斗小屋温泉をはじめ、箒川沿いの四季折々に彩を見せる塩原溪谷や沼ッ原湿原を代表とした観光の名所となる自然豊かな山岳部が占めています。残りの半分は、北側を那珂川、南側を箒川に挟まれた緩やかな傾斜の扇状地で、JR東北新幹線と宇都宮線的那須塩原、黒磯、西那須野の各駅周辺と国道4号と国道400号沿いに市街地が形成されています。

また、酪農も盛んで、生乳の粗生産額が本州第1位を誇っています。標高200m以上であり、高原性の冷涼な気候です。降水量は夏季に多く、冬に少なく、年間で1,500

〜2,000mmです。山間部では冬季には積雪があり、4月下旬でも残雪が見られます。ところで、二ノ宮

さんの地域おすすめスポットは、「創造の森・農園レストラン」ということです。レストランだけではなく保育園を運営されていて、子どもたちが自然のなかで元気にのびのびと遊ぶ姿や地域と協力して活動をすすめていく姿勢に感動するとともに、元気をもらえるので気になる方は是非行ってほしいとのことでした。

組合の紹介

今回訪問した二ノ宮牧場は、酪農とちぎ農業協同組合（白井勉代表理事組合長）に所属されています。年間生乳受託乳量は236,687t、組合員数は551名（令和3年4月現在）となり、平成13年8月1日、旧那須高原・三和・北部・明石・那須野・下都賀の6酪農協が合併し、「酪農とちぎ農業協同組合」が発足



しました。本所・那須高原支所・宇都宮支所・県南支所から成り、預託牧場・配送拠点であるセンター・検査室・クーラーステーションなどの施設を要しております。さらには、平成25年に立ち上げた「㈱酪農とちぎアグリサポート」では、良質自給飼料生産を行っており、平成30年には耕種農家と連携のもと粃米サイレージの製造を開始しております。

二ノ宮牧場の概要

18頭繋ぎの対頭式牛舎で、他に乾乳・育成パドックを所有しています。



▲ 採食中の牛

酪農作業は秋蔵さんと奥様の桂子さんのお二人です。搾乳・圃場管理・給餌・牛管理等の作業全般を秋蔵さんが、また桂子さんが搾乳器具洗浄や経理等を担当されています。圃場面積は5.5haでデントコーン・イタリアンライグラス・ライ麦を作付けしています。耕起・播種・除草散布は秋蔵さんがしていますが収穫・サイロ詰め・ラップ等は、前述の「㈱酪農とちぎアグリサポート」に作業を委託しています。

二ノ宮牧場の沿革

昭和22年に祖父の金三郎さん・祖母のフデさんが高林村（現在の那須塩原市）へ入植し開拓・開墾をして食べるものを中心に、畑作業をされていきました。その後、初代である父の幹さん、母のカヨ子さんが納屋を改造して5頭の乳牛を導入し酪農を開始しました。秋蔵さんご自身が酪農に関わり始めたのは小学生の頃からで、週末になると夕方に牛を引いて500m先の水場で水を飲ませたり雑草を食べさせていたそうで、非常に楽しんでいたそうです。中学生では糞だし・サイロだしを必ず手伝って学校へ通い、高校生になると



▲ 深さ最大6m地下サイロでの毎日の作業

完全に1頭の管理を任せられていたそうです。その後、大学時代は酪農から離れていました。昭和51年8月に現在の牛舎が建てられ、高校の教員となった3年目25歳の時に、那須塩原市の高校への赴任を機に週末の酪農作業を手伝うようになりました。その後、同じく教員であった桂子さんとご結婚され、教員をしながら酪農作業をお手伝いしていました。平成25年4月に定年退職、その後、3年間教育関係のお手伝いをし

ながら平成28年63歳に全ての勤務を辞めて退職されたのち、継続してきた酪農を捨てきれず完全に酪農1本となり現在に至っています。

二ノ宮牧場の特徴

とにかく牛が快適に過ごせる空間をできる限りつくることを努力されています。牛舎内を綺麗に保つことはもちろん、搾乳作業に入る際は必ず1頭1頭声をかけながら行ない、優しく関わり、怒鳴ることはしないようにしています。その結果、飼養されている牛のほとんどが大人しく人懐っこく、のんびりと快適に過ご



▲ 黒板へのメモ中

せていることが牛をみればすぐ分かります。さらに、飼養管理面では発情はもちろん、異変・病気等、常に



牛を観察してその都度牛舎内黒板にメモするなどで早期発見早期対応を心掛けています。なお、圃場で確保した良質な自給粗飼料が常に飼槽にある状態を作るようにしています。牛舎のまわりの外観としては、眼下に広がる一面の圃場が特徴であり常に緑に覆われている姿が大好きだったことでした。



▲眼下に広がる一面の圃場

酪農に対する想いとこれから

これまで組合職員をはじめ獣医さん等、すべての関係者にお世話に

なりながら酪農をしてくる中で、本当に酪農は地域や関係者等と協力していくべき仕事だと感じられていたことでした。また、酪農をするうえで、休暇をとって出かけたり、積極的にリフレッシュする時間を作ることが大切だと考えていることです。それが酪農を楽しい仕事だと思えること、牛とともに過ごすことが楽しいと思えることに繋がっていることです。今後は、組合等の協力をもらいながら同規模の家族経営の酪農家や地域の酪農家が、お互いの牧場訪問や研修会を積極的に行い、ざっくばらんに話し合いをしたり、様々なことを学ぶことができる場を作っていけたらと考えていることです。それが、家族経営の酪農家の活性化や地域の活性化に繋がると信じていることとでした。コロナ禍で大変な状況ではあるが、皆が前向きに酪農を営んでいけるようスクラムを組んでいきたいとのことでした。

コロナ禍の中で酪農へ 思うこと

学校給食の停止、生乳・加工乳・



▲搾乳中

乳製品の余剰傾向、植物性食品・乳製品の台頭等、畜産業界に不安があるのは拭えないと考えておられます。但し、地球環境が問題視される中で畜産業界も色々考えないといけないことは事実である為、この業界を守っていく為にも常にアンテナをたててやれることはやっていきたいとのことでした。

最後に

取材をさせていただく中で「楽農

「楽しい酪農」という言葉を使われておりました。取材中、酪農への楽しい想いが溢れている姿はまさにその言葉を体現されており、こちらにも自然と笑顔がこぼれ幸せな気持ちになりました。改めて、何をするにしても楽しむことが重要であると考えさせられました。今回コロナ禍の中、快く取材を受けていただいたことに感謝申し上げますとともに、二ノ宮牧場のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。

酪農部
発【全国農協乳業協会】
「令和3年度製造技術体験発表会・研修会」の開催

酪農部が事務局を担っている全国農協乳業協会（会長：大久保克美 東毛酪農業協同組合 代表理事組合長）において、令和3年10月14日に16事業者144名（申込ベース）の参加をえて、オンラインにて開催いたしました。

本研修会は、例年は1泊2日で全国の当協会会員企業の地元で開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で令和2年度は開催を延期しました。今年度も新型コロナウイルス感染症の終息は見込めず、初めてのオンライン開催になりました。

5会員による、工場内改善活動の報告にあわせて、山陽乳業株式会社の「平成30年7月豪雨災害からの復旧」と題した事例を共有し、よつ葉乳業株式会社十勝主管工場のチーズ製造ライン及び南日本酪農協同株式会社都城工場ボトル製造ラインを動画により紹介しました。

WEB開催にも関わらず、5題の発表に対して参加者から質問が多数寄せられ、会員製造担当者の方々の熱心な姿勢が見られました。開催後のアンケートでも、「オンライン形式で移動時間がなく見られてよかった」「泊りがけでは参加が難しい製造担当者複数名の視聴ができてよかった」など、例年と違う開催方法に対してもポジティブな意見がみられました。また、来年は是非開催をしてほしいとの声も寄せられました。

本研修会においては、会員企業内の改善活動や工場見学等からの学びはもちろんですが、普段交流のない製造担当者が集い、様々な情報交換をすることにも重きを置いています。感染のリスク回避という点においてWEB開催は大変便利ではありますが、新型コロナウイルス終息後は是非とも一つの会場に皆様が集っていただけるよう事務局も準備をしていきたいと思っております。（Y.A）

結果

※優秀賞・努力賞は発表順

賞	会員名	テーマ
最優秀賞	大山乳業農業協同組合	スティックアイスライン自動化に伴う改善
優秀賞	熊本県酪農業協同組合連合会	製造ロスの削減
優秀賞	よつ葉乳業株式会社	業務用ミルク生産効率向上の取り組み
努力賞	全国酪農業協同組合連合会	劇的!? ビフォーアフター排水処理施設大改修!!
努力賞	四国乳業株式会社	CIPの安全管理とコスト削減



▲ 大森業務担当理事(全酪連 常務理事)より、最優秀賞の大山乳業農業協同組合へ表彰状を授与した

酪農部
発【全国農協乳業協会】
「令和3年度販売担当者情報交換会」の開催

酪農部が事務局を担っている全国農協乳業協会（会長：大久保克美 東毛酪農業協同組合 代表理事組合長）において、令和3年11月11日に17事業者28名（内WEB参加19名）の参加をえて、新大阪ワシントンホテルプラザでの実参加及びオンラインで開催いたしました。

毎年、新大阪ワシントンホテルプラザで開催していた当会議も、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響からWEB開催でしたが、本年度は緊急事態宣言等の解除や感染者数の減少を受けて実参加とオンライン併用での開催となりました。

当日は、会場参加者への手指の消毒の依頼・体温計測・体調や陽性者との接触に係る問診と合わせ、会場内座席を1テーブル1名で距離を取る等の感染対策を講じた形で実施いたしました。

本年度は「学校給食用牛乳の配送効率化について」「2019年度上期比での2020～2021年度上期の販売状況について」「プラスチックレスに向けた取り

組み」について、事前のアンケートに基づいて情報交換を行いました。実際に会場にご参集の方のみならず、WEB参加の方も闊達な意見交換がなされました。各社厳しい販売状況の中ではありますが、このような情報交換会の場でのつながりや得た情報をもとに今後の事業の参考にしていただけたようです。会場に参集した方からは、「2年ぶりに実際に顔を合わせて情報交換をできる貴重な機会になった」との意見をいただきました。またWEB参加の方も、「【熱感】は会場と共有できないが、有意義な情報を得ることができた」との意見もいただきました。

本年度は感染症対策の観点から懇親会を中止いたしました。コロナ終息の折には懇親会の場も一つの会員間の結束を深める場として提供していきたいと考えます。

これからも全国農協乳業協会は会員事業者の負託にこたえるべく、様々な情報の発信や研修会の開催など活動を続けていきたいと考えております。（Y.A）



◀◀ 会場風景



▲ WEB参加者

東京
支所発3 酪農組合青年部で合同の酪農理解醸成活動
～那須塩原市・那須町～

栃木県北地域管内に所属する、那須箒根酪農業協同組合（伊藤昭光代表理事組合長）青年部（荒井康裕部長）と酪農とちぎ農業協同組合（臼井勉代表理事組合長）青年部黒磯支部（人見信支部長）と栃木県酪農業協同組合（石川正美代表理事組合長）黒磯青年部（蓮實伸也部長）の3組合青年部の代表と事務局の11名が、令和3年10月26日（火）に、那須塩原市と那須町の7小学校を訪問し、酪農理解情勢活動を行いました。この活動は、栃木県酪農業協同組合黒磯青年部が発起人となり、組合の垣根を超え、他の2組合青年部に声掛けを行い実現しました。新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、外食産業・インバウンド需要が低迷し、生乳・乳製品の需要が落ち込みました。

そこで、全国でも有数の酪農生産地帯である栃木県北地域の酪農青年部が、非常事態宣言解除に伴い、まずは地元の未来のある子供たちに、安心安全な地元の牛乳をPRすることはもちろんのこと、酪農家の仕事に対する理解と酪農に興味を持って頂けるように、各小学校の校長先生を通して、酪農家の実情と魅力について説明しました。感染予防のため、子供たちに直接会って話すことはできませんでしたが、子供たちからは、学校の給食以外でも牛乳を飲んでいたり、牛乳を飲んで大きくなりますなど、青年部にアンケートを通して、激励の声が届きました。生産者と消費者をつなぐこの酪農青年部の活動をこれからも見守っていきたいと思います。（T.K）



▲ 那須塩原市立鍋掛小学校



▲ 那須塩原市立青木小学校



▲ 那須塩原市立共英小学校



▲ 那須塩原市立黒磯小学校



▲ 那須塩原市立高林小学校



▲ 那須町立高久小学校



▲ 那須塩原市立豊浦小学校

栄えある

秋の叙勲

旭日単光章

竹ヶ原 幸光 氏

元 十和田おいらせ農業協同組合 代表理事組合長

旭日単光章

金子 春雄 氏

ゆうき青森農業協同組合 酪農経営

旭日単光章

廣野 正則 氏

香川県農業協同組合 酪農経営

旭日単光章

丸山 信義 氏

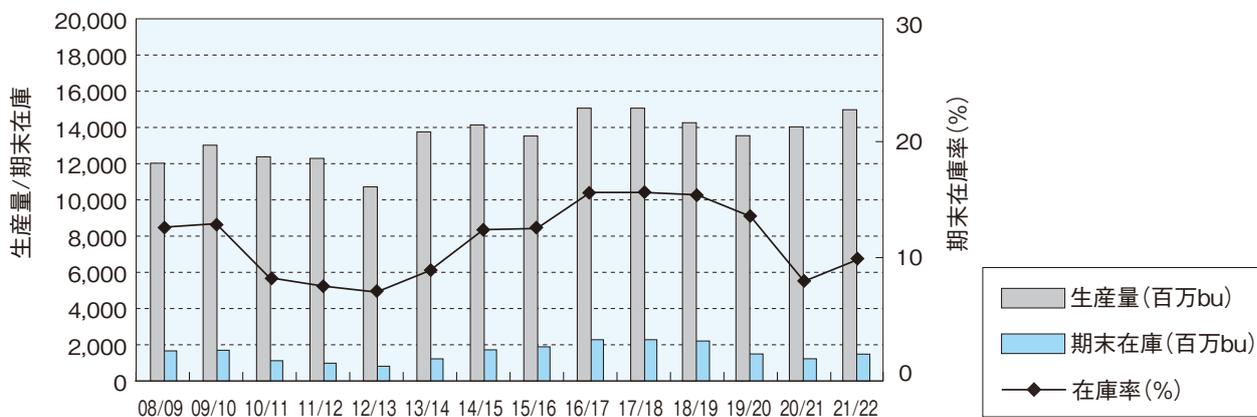
元 阿蘇農業協同組合 代表理事組合長

政府は11月3日、秋の叙勲受章者を発表しました。全酪連関係及び酪農関係からは、次の方々を受章の名誉に輝きました。心からお祝い申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。

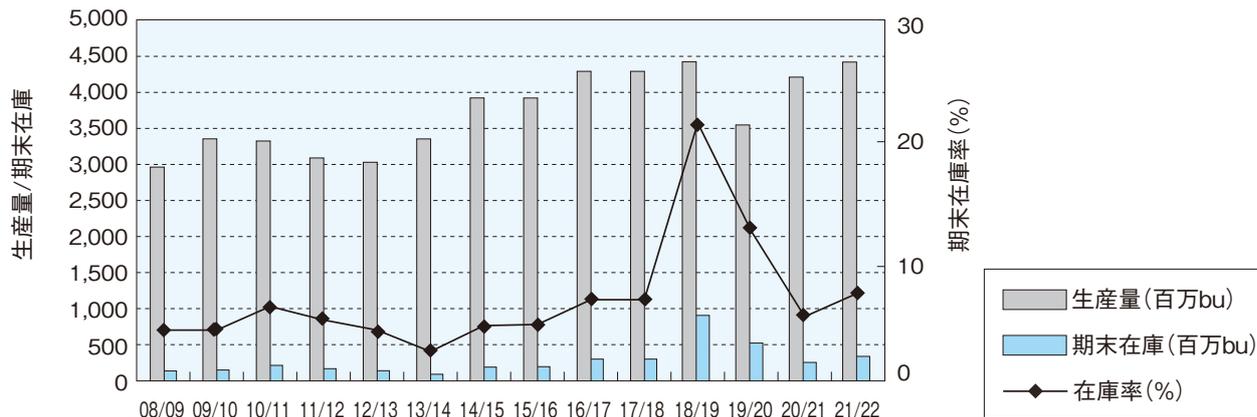


		20/21年産	21/22年産
11月9日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積(百万エーカー)	90.7	93.3
	単 収(ブッシェル/エーカー)	171.4	177.0
	生 産 量(ブッシェル)	141億1,100万	150億6,200万
	需 要 量(ブッシェル)	148億1,900万	148億3,000万
	期末在庫(ブッシェル)	12億3,600万	14億9,300万
	在 庫 率	8.34%	10.07%
トウモロコシ 相場動向	米国での収穫および南米での作付けは例年より早いペースで進んでおり、シカゴ相場は本来下がるはずではあるが、原油高に伴いエタノール需要が増えていることから底堅く推移している。		
大豆粕相場動向	シカゴ大豆相場は順調な作付けと、ブラジル産大豆の豊作見込みから緩やかに下落しているものの、国内搾油は食用油値上げの影響や外食需要の回復状況を見据えた様子見となっている。中国産大豆粕は発生が減少傾向にあることや、海上運賃の高止まりにより相場は底堅く推移しており、国産大豆粕も強気の相場となっている。		
槽糖類	【一般フスマ】 小麦粉の値上げに伴う先取り需要等により、年末年始に向けた供給は緩和傾向にあるものの、例年以上の使用については引続き制限状況にある。		
	【グルテンフィード】 国産は需要期のスターチ生産が振るわないなか不需要期を迎え、国産グルテンフィードは非常に逼迫している。中国産は発生の減少や海上運賃の高止まりにより価格は急騰している。		
海上運賃	鉄鉱石・石炭の輸送に用いられるケープ船型は10月頭に高騰したが、その後中国の粗鋼生産が鈍化し鉄鉱石輸送需要が減少する可能性があることから海上運賃は反落しており、パナマックス船型も連れられて弱含んでいる。しかし南米大豆の作付けペースは例年より早く進捗していることから年末にかけて用船が活発化する可能性があるため注意したい。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移

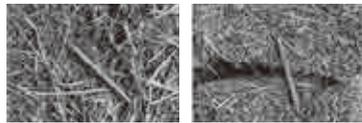




輸入粗飼料の情勢

令和3年11月

<p>北米コンテナ船情勢</p>	<p>現在、米国では11月下旬の勤労感謝の日から始まる年末商戦に向けて多くの貨物が輸入されています。この影響で全米最大のコンテナ取扱数量を誇るロサンゼルス港及びロングビーチ港では80隻近い本船が沖合に滞船しています。コンテナ本船は沖合到着からターミナルに接岸するまでに平均2週間程度滞船していることに加え、船社によっては滞船を避けるため、定期便を間引いてスケジュール調整を図っており、船腹予約のキャンセルと1か月近いスケジュールの遅延が恒常化しています。米国政府は10月に入り年末商戦での品不足による米国経済への打撃を懸念し、両港に対し24時間体制での荷役を命じるとともに、ウォルマートなど大手小売業者に対しても輸入貨物の早期受け入れを目指し、内陸倉庫及び物流の営業時間延長を要請しています。またロサンゼルス港及びロングビーチ港両港は輸入コンテナの滞留を早期に解消するため、11月1日以降船社に対しコンテナ荷役後トラックで輸送するコンテナは9日以上、鉄道で輸送するコンテナは3日以上ターミナルに滞留した場合、コンテナ1本につき1日当たり100ドルの追加料金を課す方針を発表しており、両港の混雑改善に向け各所で施策が実施されています。日本向けにアルファルファ、チモシーが多く輸出されているPNWのシアトル港・タコマ港でも沖合で10日以上コンテナ船の滞船が発生しており、各ターミナルも混雑状況が悪化しています。ターミナルでのトラックの待ち時間は3-4時間となっており、これまで工場とターミナル間を1日2回往復できたものが、1往復しかできず、各輸出業者の出荷能力低下を招いています。また今後冬季に入り産地とシアトル港、タコマ港をつなぐ国道90号で積雪や路面凍結が想定され、交通麻痺による更なる出荷能力の低下が懸念されています。</p>
<p>ビートパルプ</p>	<p>【米国産】 21-22年産ビートは一部の地域では収穫終了しており、作業は終盤を迎えています。単収については総じて良好で、各地1エーカー当たり28.5t-36.0t程度と平年並みから地域によっては最大で6t以上上方修正されています。製糖作業については各工場で生産が続いています。一方、全米では問題となっている労働者不足は各製糖工場も同様に影響を受けており、人員確保の目的は立っておらず、今後の生産に支障を来す懸念が残っています。</p>
<p>アルファルファ</p>	<p>【ワシントン州】 主産地であるコロンビアベースンでは4番刈の収穫が終了しました。産地では9月下旬から10月上旬にかけて断続的な降雨がありました。気温も涼涼になり、春先から夏場に比べ乾燥時間が長くなったことから、雨当たりの被害が多く発生しています。このため4番刈は中低級品中心の発生となっております。西海岸が直面する早魃の影響により放牧草が不足していることから、米国農務省は代替粗飼料の確保のため影響の大きい酪農、肥育、馬糧に対して助成金の交付を開始しています。これにより内需の購買力は増しており産地相場は依然として上級品から下級品まで高値で推移しています。</p> <p>【オレゴン州】 オレゴン州南部クラマスフォールズでは4番刈の収穫を終え21年産の生産が終了しています。8月下旬から3番刈の収穫作業が始まりましたが、産地では9月に入り断続的な降雨があったことから一部で降雨被害も発生しており、また天候の回復を待って収穫作業を開始した圃場は適期を逃し刈遅れとなりました。産地では引き続き厳しい早魃状況下であり、農業用水の使用が制限されたことで、21年産の生産量は例年に比べ20-30%程度減少しています。同州中部クリスマスバレーでも3番刈の収穫が終了し21年産の生産を終えています。3番刈の収穫作業は9月上旬から順次開始されましたが、収穫中の降雨の影響で多くの雨当たり品が発生しており、上級品の発生は限定的となっております。</p>
<p>チモシー</p>	<p>【米国産】 主産地であるワシントン州コロンビアベースンとエレンズバークでは2番刈の収穫が終了しています。21年産は1番刈から2番刈まで全体を通して、収穫期の天候に恵まれたため、上級品から中級品中心の発生となり、低級品の発生は限定的です。また西海岸の早魃の影響でチモシーにおいても米国内需からの引き合いが強く、非灌漑でチモシーを栽培するアイダホ州の大幅な減産の影響もあり、輸出業者によっては必要数量を確保できず、顧客ごとに契約本数を制限する動きも見られます。</p> <p>【カナダ産】 主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区、中部クレモナ地区ともに21年産の収穫作業は概ね終了しています。品質は中級品から上級品中心の発生となりましたが、早魃の影響で例年に比べ生産量は30%程度減少しています。需要については米国産の手当てができなかった日本、韓国といった輸出向けだけでなく、産地周辺の酪農家、肥育農家からの引き合いは強くなっており、産地相場は高値で推移しています。</p>
<p>スーダングラス</p>	<p>主産地であるカリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、21年産の収穫が終了しています。産地では収穫された全てのスーダンが成育済となり、余剰在庫はない状況です。21年産は作付面積の減少に加え、生育期の天候の影響を受け例年よりも若干遅い収穫のスタートになったことから、茶葉の混入や、茎のサイズが不安定な品質が多く、良品の確保が難しい年となりました。加えて収穫期後半に複数回の降雨に見舞われたため、下級品においては多くの雨当たり被害が発生し、輸出向け品質の発生が少なく、各輸出業者は日本の各顧客に対して出荷数量に制限を設けています。カリフォルニア北部でも21年産の生産は終了しています。7月下旬から9月にかけて収穫が行なわれました。21年産は収穫時に少雨があり、いくつかダメージ品が発生しましたが、雨当たり品は国内向けに出荷されています。また早魃の影響で周辺地域の酪農家、肥育農家において自給飼料が不足しているため、普段は輸出向けに需要がない上級品も内需向けに高値で取引されています。</p>
<p>クレイングラス</p>	<p>クレインは全酪連の登録商標です。</p> <p>主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは21年産最後の番手となる5番刈の収穫が行なわれています。秋口になり気温も涼涼になっていることから、上級品～中級品中心に発生しています。他草種に比べ扱いやすい価格帯であったことから、国内外から需要が高まっており産地相場は上昇基調にあります。</p>
<p>ストロー類</p>	<p>ペレニアル種のライグラスストローは、輸出業者からの引き合いが増している中、低調な作付面積と早魃の影響を受け、生産は例年に比べ減少しており、産地相場は高値で推移しています。</p>
<p>オーツヘイ</p>	<p>【蒙州産】 9月より始まった21年産の収穫は全蒙を襲う断続的な降雨の影響で作況に大きな影響が出ています。また冷涼な気候が続き、例年であれば乾燥から集草まで10日程度費やす作業工程が21年産は15日～25日程度を要しており、厳しい条件のなか収穫が進められています。この状況下、21年産の上級品の発生量は例年よりも大幅に減少することが見込まれ、輸出業者によっては各顧客毎に供給数量の割り当てを設ける動きも見られています。</p> <p>【西蒙州産】 既にほとんどの圃場で刈取りを終えており、集草作業は折り返しを迎えています。冷涼な気温のなか、通常以上に乾燥作業に時間を費やされており、断続的な降雨が続いたため、多くの雨当たり品が発生しています。一部で降雨を避けられましたが、適期を逃し収穫されたため、刈遅れ気味の中級品になる見込みです。</p> <p>【南蒙州産】 こちらも、ほとんどの圃場で刈取りを終えており、30%で集草作業を終えています。南部でも断続的に降雨があり、大半が雨当たり品となっており、降雨を避けるために収穫作業を遅らせた圃場もありますが、刈遅れ気味で成分低下が懸念されています。</p> <p>【東蒙州産】 刈取り作業は後半を迎えており、15%程度の圃場で集草作業を終えています。冷涼な気候で乾燥作業に例年以上に時間を費やすなか、断続的な降雨が発生し多くの雨当たり品が発生しています。天候の安定を待っている圃場では刈遅れによる成分低下が懸念され、牧草でなく穀物として収穫することを決断する生産者も増えています。</p>
<p>蒙州海運情勢について</p>	<p>クリスマス商戦が近づき蒙州からの船積みの厳しさが増えています。上海・寧波港では沖合での滞船が増加しており、その数は150隻を超えると言われてしています。この影響で一部の船社で東蒙州発の本船サービスで日本を含む東アジア向けの寄港を一定期間抜港することを発表しており、船腹予約のキャンセルが増えています。加えて蒙州から日本向けの積替港であるマレーシア、シンガポール、釜山でも深刻な混雑が続いており、本船スケジュールが予定よりも1か月以上遅延することが恒常化しています。蒙州航路でも海上運賃の値上げが毎月のように行われています。この1年で3倍程度、海上運賃が上昇しており、蒙州産オーツヘイのコストを押し上げています。</p>



▲ 3番刈アルファルファ 10月撮影 クラマスフォールズにて撮影



◀ 5番刈クレイングラス 10月下旬エルセント口にて撮影

乳牛産地情報

令和3年12月1日現在

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇩……やや弱含み ↓……弱含み

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	28~38	↓	札幌管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で101.1%、累計で98.3%、苫小牧管内月計で99.3%、累計で98.9%の実績となっております。12月の初妊牛動向といたしまして、2月~3月上旬分産が中心となります。11月の同地域の乳牛市場はやや弱含みの相場展開をみせました。このことから12月の庭先購買におきまして、価格は弱含みに推移すると思われます。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。
	初妊牛	55~65	↓	
	経産牛	35~45	⇩	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	28~38	↓	根釧管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で103.4%、累計で101.9%、中標津管内月計で106.6%、累計で104.2%の実績となっております。12月の初妊牛動向といたしまして、2月分産が中心となります。11月の管内乳牛市場が弱含みとなったことや、年末に向けて出回り頭数が増えることが予想されることから、12月庭先購買価格も弱含みの動きとなるものと思われます。腹別ではこれまでと同様、雌雄選別腹は軟調、F1腹は大きくはくずれない状況が続くものと思われます。初妊牛と合わせて、育成牛・経産牛も弱含みで推移するものと思われます。
	初妊牛	55~65	↓	
	経産牛	35~40	⇩	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	30~40	↓	帯広管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.8%、累計で104.4%の実績となっております。12月の初妊牛動向といたしまして、2月~3月上旬分産が中心となります。11月管内乳牛市場の初妊牛平均相場はやや弱含みでの相場展開をみせました。12月は例年出場頭数が多いため、12月の庭先購買におきましても弱含みに推移すると予測されます。初妊牛の資源につきましては、例年よりも潤沢でありますので、頭数は確保できる状況となっております。
	初妊牛	57~67	↓	
	経産牛	35~45	↓	
道北管内	育成牛(10-12月令)	26~36	↓	道北管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で102.9%、累計で99.8%、北見管内では月計で104.0%、累計で103.0%の実績となっております。12月の初妊牛動向といたしまして、2月~3月上旬分産が中心になります。資源頭数・出品頭数ともに多いまともな思われ、需要は前月同様に弱いと予想されるため、相場はやや弱含みで推移すると思われます。腹別では雌雄選別腹の引合いは弱めのみま動くと思われます。育成牛も出回り頭数が多く、引合いは弱いため、相場は弱含みで推移すると思われます。経産牛の相場も初妊牛同様にやや弱含みで動くと思われます。
	初妊牛	52~62	⇩	
	経産牛	35~45	⇩	
道内総括	育成牛(10-12月令)	28~38	⇩	道内の11月中旬までの生乳生産量前年比は104.3%、累計で102.8%の実績となっております。2月~3月分産中心となる12月の初妊牛動向といたしまして、各地域とも都府県・道内購買者の導入意欲が少ない事や引き続き頭数が豊富なことから、相場は弱含みで推移するものと思われます。腹別では、先月同様、雌雄選別腹は価格が落ち着いており導入しやすい状況となっており、F1腹については、一定の人気があり強めの相場を見込んでおります。導入しやすい相場となっておりますので、購買計画がありましたらお早めに弊社担当者までご相談頂き、ご希望に合った搾乳用素牛を庭先選畜購買中心に供給させていただきますのでどうぞ宜しくお願い致します。
	初妊牛	55~65	↓	
	経産牛	35~45	⇩	

今月の表紙

今月の表紙は「第11回酪農いきいきフォトコンテスト」に応募いただいた作品「ガールズトーク」(広島県 沖あづさ氏 撮影)です。



編集後記

行く「うし」、来る「とら」

●まもなく“激動”の令和3年・^{うし}丑年が幕を閉じ、令和4年・^{とら}寅年を迎えます。

全国の天満宮や天神社の境内ではよく「うし」(臥牛:横たわる牛)を見かけます。菅原道真公が大宰府で生涯を閉じられた際、遺言に従って遺骸を牛車に乗せたとする途中牛が座り込んで動かなくなり、遺骸はその地(安楽寺)に埋葬されたとされています。その墓所が現在の太宰府天満宮になっています。

「とら」は毘沙門天を祀る寺院で見ることができます。毘沙門天は仏教における天界の武神で、「四天王」の一人(多聞天)。「十二天」の一人でもあり、「七福神」の一人でもあります。)虎は、毘沙門天の使いとして一晩で千里の道を作り、毘沙門天に代わり人々の願いを聞いて回ると言われています。

令和4年、良い年になりますように!

写真提供: 関 和幸



臥牛(反芻中?)
布多天神社
(東京都調布市調布ヶ丘)



狛犬ならぬ 狛虎「ん」「あ」
多聞山 天現寺
(東京都港区南麻布)



令和3年12月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 12月号 No.675

●編集・発行人 工藤文彦

●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館

TEL 03-5931-8003 <http://www.zenrakuren.or.jp/>

全酪連会報 総目次 (2021.1 ~ 12月号)

1月号

新年の御挨拶／
 全国酪農業協同組合連合会 代表理事会長砂金基太郎 2
 農林水産省生産局長 水田正和 4
 酪農とのかけはし／江口和範さん 6
 広告／GOOD START PREMIUM-SOYCHLOR 9
 監査室だより／今求められる内部統制・内部監査(人)の役割とは 10
 酪農業に対する理解醸成活動報告(前編) 12
 日本酪農見て歩紀／(株)クリスタルフラワー 静岡県富士宮市 14
 酪農トピックス／儲かる酪農とは? JA北オホーツク「青年部講習会」開催(札幌)ほか 19
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和2年12月) 24
 酪政連活動報告 26
 今月の表紙 27
 広告／全酪連 28

2月号

若手後継者の本音／大門正英さん 2
 日本酪農見て歩紀／永田正樹牧場 兵庫県神戸市 4
 酪農業に対する理解醸成活動報告 7
 酪農トピックス／【全国農協乳業協会】「令和2年度経営者研修会・意見交換会」の開催(本所)ほか 9
 広告／GOOD START PREMIUM-SOYCHLOR 11
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年1月) 12
 人事異動 14
 今月の表紙 15
 広告／全酪連 16

3月号

酪農とのかけはし／福島県立岩瀬農業高等学校生物生産科 動物科学コース 酪農専攻3年生 2
 令和元年度 会員概況調査より 5
 企画管理部だより／令和2年度 決算に向けて 8
 品質保証室だより／飼料GMPについて 12
 酪農業に対する理解醸成活動報告 14
 日本酪農見て歩紀／草場牧場 福岡県朝倉市 16
 酪農トピックス／酪農会館に牛乳・乳製品専用の自動販売機が
 設置されました(本所)ほか 19
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年2月) 22
 作品募集のお知らせ 24
 今月の表紙 25
 広告／全酪連 26

4月号

若手後継者の本音／久保貴光さん 2
 令和2年度 全酪連監事・役員研修会 7
 酪農業に対する理解醸成活動報告 12
 第十二次中期 事業計画案 13
 総務部だより／法務・コンプライアンス課
 「肥料取締法」から「肥料の品質の確保等に関する法律」へ!
 改正の概要と施行のスケジュール!! 16
 広告／ゼンラク肥料のラインナップ例と標準施肥設計 20
 全酪連2021年のニューフェイスが集結! 20
 酪政連活動報告 21
 日本酪農見て歩紀／(有)ビッググリーン増幌 北海道稚内市 22
 酪農トピックス／日本酪農政治連盟東北ブロック協議会
 「通常総会」・「研修会」・「意見交換会」開催(仙台)ほか 25
 お知らせ／北関東事務所の新体制について 27
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年3月) 28
 作品募集のお知らせ 30
 今月の表紙 31
 広告／全酪連 32

5月号

酪農とのかけはし／大阪府立農芸高等学校 資源動物科 2
 日本酪農見て歩紀／五十嵐牧場 青森県六ヶ所村 5
 酪農トピックス／千葉県牛乳普及協会が千葉都市モノレールの
 車体にラッピング広告を実施!(東京)ほか 8
 広告／DCAD・ルーメンpH調整飼料 9
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年4月) 10
 作品募集のお知らせ 12
 今月の表紙 13
 広告／全酪連 14

6月号

若手後継者の本音／志賀拓馬さん 2
 日本酪農見て歩紀／小林幹男牧場 群馬県前橋市 5
 第49回 全国酪農青年女性酪農発表大会 発表者決定!! 8
 第49回 全国酪農青年女性酪農発表大会開催案内 11
 酪農トピックス／待ってたよ!「第49回 九州酪農青年女性酪農発表大会」
 開催される(福岡) 12
 お知らせ／父の日には牛乳を贈ろう! 13
 酪政連活動報告 14
 栄えある春の叙勲 15
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年5月) 16
 今月の表紙 18
 酪農部だより／全酪連ギフト商品について 19

7月号

酪農とのかけはし／中村聡志さん(株式会社ノースベッツ) 2
 第47回 らくのうこどもギャラリー 入賞作品紹介 4
 日本酪農見て歩紀／株式会社エムズ 岐阜県瑞浪市 8
 酪農トピックス／福島県復興牧場設立に関する連携協定を締結(本所)ほか 12
 人事異動 15
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年6月) 15
 今月の表紙／ただいま ポーズ 17
 今月のこどもギャラリー／相馬市立八幡幼稚園(作品制作当時)4歳(東北)の荒 勇翔さん 18

8月号

第72年度(令和3年度)通常総会開催される(概要) 2
 若手後継者の本音／清水大翼さん 4
 全酪飼料だより／全国酪農飼料(株)は「省エネ法の事業者クラス分け評価制度」
 において6年連続Sクラス(最高評価)の優良事業者となりました 6
 令和2年集計結果 DMSシステム 8
 第49回 全国酪農青年女性酪農発表大会① 10
 日本酪農見て歩紀／株式会社クインファーム 広島県庄原市 13
 酪農トピックス／おしゃれなカフェの店内に牧場が出来ました(東京)ほか 16
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年7月) 20
 人事異動 22
 今月の表紙／こちらの哺乳瓶からも味見 23
 今月のこどもギャラリー／上長飯小学校(作品制作当時)6年(九州)野崎 和さん 24

9月号

酪農とのかけはし／馬上温香さん(株式会社牛かうVaca 代表取締役社長) 2
 第72年度(令和3年度)通常総会開催される(詳細報告) 5
 酪農部だより／酪農家シリーズに9/1より新商品が加わります 8
 総務部だより／酪農を支える人材育成事業に関する新法人
 「一般社団法人 全酪アカデミー」設立 10
 第49回 全国酪農青年女性酪農発表大会② 11
 日本酪農見て歩紀／株式会社Hamanda Dairy Farm 佐賀県東松浦郡玄海町 14
 酪政連活動報告 18
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年8月) 19
 今月の表紙／ひとやすみ 21
 今月のこどもギャラリー／豊富小学校 4年(中部)の川端恭幸さん 22

10月号

若手後継者の本音／三宅春香さん 2
 日本酪農見て歩紀／松井俊治牧場 北海道阿寒郡鶴居村 4
 酪農トピックス／ミルク徳島が「こども食堂」に牛乳・乳製品を無償提供(大阪)ほか 8
 酪政連活動報告 9
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年9月) 10
 広告／GOOD START PREMIUM 12
 今月の表紙／みんなでえさやり 13
 今月のこどもギャラリー／室場小学校 1年(中部)の石川陽菜さん 14

11月号

酪農とのかけはし／津田聡美さん 2
 酪農部だより／直近の生乳需給について 6
 日本酪農見て歩紀／若月牧場 山形県米沢市 8
 酪農トピックス／【全国農協乳業協会】
 「令和3年度営業向け研修会」の開催(酪農部)ほか 11
 広告／酪農家経営管理支援システム(DMSシステム) 14
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年10月) 15
 今月の表紙／もう少し飲みたいのになあ〜 17
 酪農部だより／全酪連ギフト商品について 18
 今月のこどもギャラリー／山陽小野田市立厚狭小学校 2年(西日本)藤井美有さん 22

12月号

酪農とのかけはし／長野麗さん(山の未来舎) 2
 酪農業に対する理解醸成活動報告① 6
 酪農部だより／牛乳・乳製品消費拡大活動「I ♥ MILK Action2021」の展開について 8
 令和3年度 全酪連会員職員研修会 10
 日本酪農見て歩紀／二ノ宮牧場 栃木県那須塩原市 13
 酪農トピックス／【全国農協乳業協会】「令和3年度製造技術体験発表会・研修会」
 の開催(酪農部)ほか 16
 栄えある秋の叙勲 19
 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和3年11月) 20
 今月の表紙／ガールストーク 22
 総目次 23
 今月のこどもギャラリー／埴町立笹原小学校(作品制作当時)5年(東北)の松本悠真さん 24

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



草原の牛

埴町立笹原小学校〈作品制作当時〉5年(東北) 松本 悠真

今月の入賞作品は…

埴町立笹原小学校〈作品制作当時〉5年(東北)の松本悠真さんの作品です。

前足を曲げて地面に佇む牛さんの姿が、とても優雅です。牛さんのお顔や体の白い部分に陰影をつけて丁寧に描かれ、立体感をよく表しています。鼻の部分は水分をたっぷりと含んだピンク色がにじんでいて、質感も伝わってくる巧みな作品に仕上がっています。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第47回らくのうこどもギャラリー」で全国198点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議